

原子力事業所の防災訓練の要旨

1. 防災訓練を実施した原子力事業所

京都大学複合原子力科学研究所

2. 防災訓練の実施日

2021年11月2日

3. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

平日昼間帯に発生した震度6強の地震により、5 MWにて運転中であったKURの炉心タンク水位が低下し全面緊急事態（GE）に至る事象、及び停止中であったKUCA内で発生した火災による放射性物質放出が発生し施設敷地緊急事態（SE）に至る事象の同時発災を想定。

4. 防災訓練の項目と内容

(項目)： 総合訓練

- (内容)：
- (1) 参集点呼訓練
 - (2) 通報連絡訓練
 - (3) 情報収集訓練
 - (4) 緊急時体制の構築訓練
 - (5) 避難誘導等訓練
 - (6) 汚染拡大防止等訓練
 - (7) 医療活動訓練
 - (8) 消火活動訓練
 - (9) 緊急時モニタリング訓練
 - (10) 線量評価訓練
 - (11) 広報活動訓練
 - (12) 応急復旧訓練
 - (13) BDBA*対策訓練
 - (14) 資材調達・輸送訓練
 - (15) 要員派遣、資機材貸与訓練
 - (16) 外部機関との連絡調整訓練
 - (17) 他施設との同時発災訓練

* BDBA：設計基準（想定）を超える事故

5. 防災訓練の結果の概要

(1) 参集点呼訓練

- a) 緊急事態の発生後 4 分で、一斉放送等による要員召集を行い、10 分で参集点呼を

実施した。

- b) 緊急作業団の参集時における各作業班の人員数や班員の状況について、緊急対策本部に情報提供できなかった。

(2) 通報連絡訓練

- a) 緊急本部内での情報共有、所内外関係機関への情報発信、ERCプラント班との常時通話接続による情報連携を実施した。
- b) 緊急本部内で COP 作成に必要な事象進展や応急対策の予測を情報共有した。
- c) 備え付け資料を使用して ERC プラント班と情報共有した。
- d) 発生した特定事象を ERC プラント班に 10 分以内に通報した。

(3) 情報収集訓練

- a) 緊急本部において現場及び現地指揮本部からの情報収集を行い、ホワイトボードへ経時情報とモニタリング情報、炉心タンク水位等の重要情報を整理して記録した。
- b) ネットワークを利用した情報共有ツールを用いた情報の収集と整理を実施した。外部汚染した負傷者の状況を情報共有し、除染と応急処置を行なった。

(4) 緊急時体制の構築訓練

- a) 緊急本部の召集後 14 分で参集した要員の役割分担を行い、緊急時体制を構築した。
- b) 発災現場での指揮や現地指揮本部との連絡を担当する班員が配置されず、現場作業が統率されていなかった。

(5) 避難誘導訓練

- a) 一斉放送による退避誘導、研究所敷地内の避難所の状況把握及び避難の状況把握を実施し、事象発生後 20 分での緊急本部への情報共有を実施した。

(6) 汚染拡大防止等訓練

- a) 現場作業員の汚染状況を把握し、状況に応じた汚染拡大防止を実施した。

(7) 医療活動訓練

- a) 要救助者の発生連絡から 15 分で汚染拡大防止の準備を行い、救出・救護(医療活動)を実施した。

(8) 消火活動訓練

- a) 原子炉施設内で発生した火災に対する消火活動を実施した。

(9) 緊急時モニタリング訓練

- a) 定時における周辺区域の線量測定及び放射線影響評価を実施した。

(10) 線量評価訓練

- a) 現場(KUR 制御室)で活動する要員の被ばく線量評価を実施し、EAL51 の判断を実施した。

(11) 広報活動訓練

- a) 事象発生後 10 分で、緊急本部で広報文を作成し、web ページへの情報掲載を実施した。

(12) 応急復旧訓練

a) 発災現場での応急復旧対策の準備指示の後 10分で、応急復旧対策の準備を実施した。

b) 発災現場での指揮や現地指揮本部との連絡を担当する班員が配置されていなかったため、現場作業が統率されていなかった。

(13) BDBA 対策訓練

a) 緊対本部において施設状況、事象進展予測、対応戦略についての情報収集はできたが、COP-3 シートへの記載ができなかった。

(14) 資材調達・輸送訓練

a) 緊急作業団の活動に必要な資機材についての指示から 12分で調達と輸送を実施した。

(15) 要員派遣、資機材貸与訓練

a) 事象発生後 19 分で、防災要員としての派遣人員の選定を実施した。

(16) 外部機関との連絡調整訓練

a) 外部機関への支援準備要請連絡を行い、緊対本部内での要請の状況の情報共有を実施した。

(17) 他施設との同時発災

a) KUR と KUCA のふたつの原子炉施設での同時発災を想定して訓練を実施した。